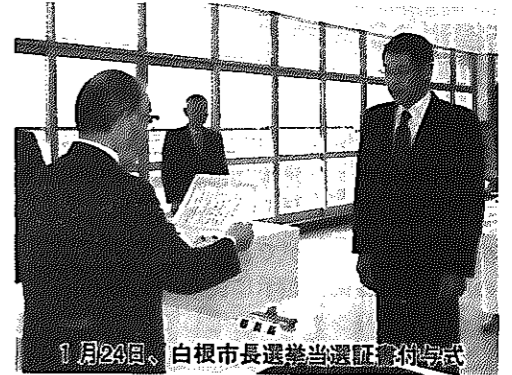


吉沢市長、無投票で再選



1月24日、白根市長選挙当選証書交付式

任期満了に伴う白根市長選... 一月十六日、吉沢真澄市長の任期満了に伴う市長選が告示されました。この日、現職の吉沢市長以外に届け出がなく、無投票での再選が決まりました。任期は、一月二十七日から三月二十日まで。新潟市を含む十二市町村との合併前日までとなります。吉沢市長は「白根市最後の市長として多くの先人の心を大切にしながら、合併を機にさらに発展できるまちとなるよう、誤りなく新潟市に引き継いでいきたい。合併まで、引き続き全力で市政運営をしていく」と抱負を語りました。

一年の無火災・無災害を誓う



平成17年消防出初式

一月八日、市制施行以前から毎年行われていた消防伝統行事、出初式分列行進が本町通りで行われました。今年も、白根地域消防本部、白根市および管内消防団として挙行する最後の年。無火災・無災害を目指し、決意を新たにした団員の行進や車両部隊のパレードを、沿道の人たちが頼もしく見送りました。白根地域消防本部および管内消防団は、新潟市消防署・消防団の第五方面隊として、合併後も変わらずにわたしたちの地域を守り続けていきます。

早く元気が出ますように



十二月二十二日、白根小五年一組の児童が、総合学習で栽培した米を

白根小学校の児童が中越地震被災者に義援金を送る

中越地震の被災者に役立ててもらおうと、その米を販売して得た一万八千円を、日赤新潟県支部に寄附しました。当日は、児童の代表四人が来庁し「二日でも早くもとの楽しい生活がおくれますように」などと書かれた応援メッセージを添えて、寄附金を持参しました。子どもたちの「地震に遭った人に少しでも元気になってもらいたい」との話し、日赤白根市地区長の吉沢市長は「相手を思いやる心は大変素晴らしい」と話し、感謝の気持ちを伝えました。

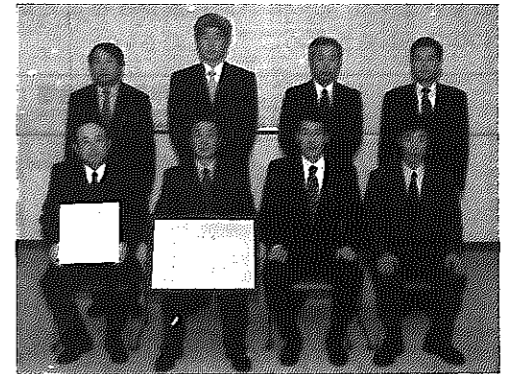
初代同様、かわいがってね

2代目ブックバス登場



平成十二年四月から昨年十一月末まで、市内を走り続けた「しろね図書館ブックバス」。四年八カ月にわたり、二万人を超える利用者に、約七万冊の本を貸し出してきました。このように活躍してきた初代ブックバスが老朽化により引退することになった。このほど2代目が登場しました。白根の街並みに合わせ、小回りが利くよう初代より小さめの造りとなっています。現在は降雪期のためお休みしていますが、二月二十四日から運転を再開します。初代同様、皆さんのご利用をお待ちしています。

水防活動の功績をたたえ



国土交通省が白根市消防団を表彰... 一月十九日、東京・霞が関の国土交通省で、白根市消防団が水防功労者大臣表彰を受け、西村消防団長が連実副大臣から表彰状を手渡されました。これは県内八市町村の消防団が、昨年の7・13豪雨災害時の水防活動を高く評価され、その功績がたたえられたものです。吉沢市長は「人的被害もなく、最小限の被害にとどめられたのも、昼夜を問わず広範囲にわたる水防作業を行った結果」と称賛。二十一日、白根市消防本部であらためて同消防団を表彰しました。

字の変更 1月31日から「清水」に変更

市では、大字茨曾根の清水自治会の全域と、国道8号清水交差点の周辺区域の字名を「清水」に変更しました。これにより、左図の区域の住所が一月三十一日から「白根市清水」になりました。

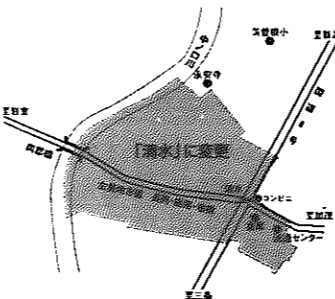


Table with 2 rows and 3 columns showing address changes from 'Izazugane' to 'Shimizu'.

問い合わせは 総務課行政係 373・2111 内341

寒さも吹き飛ばふれあいイベント



一月八日、小林地区で「こぼれ新春ウォーキング」が開催されました。これは合併記念協賛事業として、住民が一丸となって地域のふれあいを確認するとともに、地域の歴史を再発見しようと開催されたものです。寒空の下、四・五・六キロのコースに、計百六十人が参加。「いつもは車で通る道を歩くことで、あらためて小林という地域を知ることができた」など、自分の住む地域での思わぬ発見を楽しみました。またウォーキング終了後の抽選会では、お笑い集団N.A.M.A.R.A.の爆笑トークに、参加者は心も体も温まる一日を過ごしました。

県内外に白根をアピール

白根市合併記念中学校バスケットボール大会



一月十五日、十六日の二日間において、カルチャーセンターなど三つの会場で、「白根市合併記念中学校バスケットボール大会」が開催されました。この大会は、白根市バスケットボール協会が主催。合併を記念し、市外・県外から中学生を招いて、市内のバスケットボール技術向上を図るとともに、訪れた生徒たちに白根市の魅力を感じてもらおうと開催されたものです。大会には近隣の中学校と、山形県、長野県などの県外中学校、合わせて十一校が招かれ、市内中学生とともに、技術を競い合い、友好を深めました。